

スーパーカブシリーズは、1958年8月に初代モデルの「スーパーカブ C100」が発売されました。このスーパーカブ C100（排気量 50cc）は、より多くの人達の生活を便利に、また豊かにすることを旨とし、エンジンはもとよりフレーム各部にも使い勝手を高めるための斬新なアイデアや新技術を採用しました。低燃費や静粛性、信頼・耐久性に優れた4ストロークエンジンの搭載をはじめ、乗り降りしやすい低床バックボーンタイプのフレームや、クラッチ操作を省いた自動遠心式クラッチの採用などで、幅広いお客様に愛用されてきました。

以降、お客様のニーズや使い勝手に合わせて、性能やデザインに熟成を加えながら、豊富なバリエーション展開によって、日本はもとより、世界各地のお客様に愛されるとともに、快適に移動する喜びを提供してまいりました。

スーパーカブ 110 は、長年に渡り培ってきた信頼・耐久性を基に、ビジネス用途で求められる経済性と実用性を追求した国内専用モデルです。

エンジンの主要部品やフレームの一部はタイホンダ・マニュファクチュアリングで生産、フレーム主要部品と完成車生産は日本の熊本製作所で行なうなど、調達から生産まで高効率化を図ることで、お求めやすい価格を実現しています。また、新世代のスーパーカブにふさわしく、低フリクションエンジンや Honda 独自の電子制御燃料噴射装置（PGM-FI※）などの先進技術を採用。伝統を感じさせながら、新しさを加え機能美あふれるスタイリングに進化いたしました。

※PGM-FI (Programmed Fuel Injection) は Honda の登録商標です。

